

年表(前史～1922年～1972年)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1872				10	14	新橋～横浜間開通
1877				1	29	西南戦争勃発
(M.10)				2	5	京都～神戸間開通
1880				12	28	東京馬車鉄道(株) 設立
(M.13)						
1881				11	—	日本鉄道(株) 設立
(M.14)						
1882				6	25	東京馬車鉄道(株) 新橋～日本橋間開通
(M.15)						
1883				7	28	日本鉄道(株) 上野～熊谷間開通
(M.16)						
1885				3	1	日本鉄道(株) 山手線開業
(M.18)						
1887				5	18	私設鉄道条例公布
(M.20)						
1889				5	—	東京市制定
(M.22)				7	1	新橋～神戸間開通
1890				4	—	第三回内国勲業博覧会開催(米国製電車を展示)
(M.23)				8	23	軌道条例公布
1891				9	1	日本鉄道(株) 上野～青森間全通
(M.24)						
1894				8	—	日清戦争開戦
(M.27)				12	—	川越鉄道(現:西武鉄道(株)) 開業
1895				1	31	京都電気鉄道会社 京都～伏見間で電気軌道を開業
(M.28)						
1897				11	1	東武鉄道(株) 設立
(M.30)						
1899				1	21	大師電気鉄道(株) 川崎～大師間で運行開始
(M.32)				3	22	耕地整理法公布
				8	27	東武鉄道(株) 開業
1900				3	16	私設鉄道法公布
(M.33)				3	16	鉄道営業法公布
1902	2	8	(玉川)渋谷～玉川間鉄道敷設特許(渋谷～三宅坂間は不許可)			
(M.35)	3	20	(玉川)玉川砂利電気鉄道から玉川電気鉄道(株)と商号変更			
1903	10	4	(玉川)創立総会、資本金40万円 専務(代表取締役)に渡辺熊之進就任 本社を東京市麴町区内幸町1-5に設置			
(M.36)						
1904	7	27	(玉川)三軒茶屋～玉川間軌道敷設工事施行認可申請(1905.1.21認可)	2	8	日露戦争開戦
(M.37)	10	3	(玉川)火力発電所建設出願(10.25許可)	7	—	鉄道国有化の実行を閣議決定
1905	5	8	(玉川)本社を東京市赤坂区青山北町6-47に移転	4	12	阪神電気鉄道(株) 開業
(M.38)	7	5	(玉川)道玄坂上～三軒茶屋間軌道工事施行認可申請(10.27認可)			
1906	2	8	(玉川)旅客運賃認可 区間制1区3銭、全線5区	4	20	鉄道国有法施行
(M.39)	3	1	(玉川)渋谷～道玄坂上間軌道敷設工事施行認可申請(9.1認可)	6	—	東京電車鉄道(株)、東京市街鉄道、東京電気鉄道の三社が合併し、東京鉄道 設立
	3	23	(玉川)軌道敷設工事着手			
	11	10	(武蔵)発起 渋谷村字渋谷広尾町～横浜市平沼間鉄道敷設免許申請			
1907	3	6	(玉川)道玄坂上～三軒茶屋間開通(単線)			
(M.40)	4	1	(玉川)三軒茶屋～玉川間開通(単線)			
	5	25	(武蔵)起点渋谷村字渋谷広尾町を字広尾町天現寺橋に変更し、天現寺橋～官設平沼停車場間(本線)、調布村～蒲田間(蒲田支線—第1支線)鉄道敷設免許申請			
	8	11	(玉川)渋谷～道玄坂上間開通(単線)により渋谷～玉川間全通			
1908	5	8	(武蔵)天現寺橋～官設平沼停車場間(本線)、調布村～官設蒲田停車場間(蒲田支線)、仮免許			
(M.41)	5	14	(玉川)電灯業営業開始 世田谷、駒沢両村へ電灯供給開始			
	6	12	(武蔵)碑文谷～新宿間(新宿支線—第2支線)、平沼～蓬萊橋間(横浜市内延長線—第3支線)鉄道敷設免許申請			
1909				12	16	烏森(現:新橋)～上野(品川・池袋経由)間および池袋～赤羽間に電車運転開始
(M.42)						

1939年10月1日以前の当社の各関係会社については、各項目の頭に以下の文字を入れて区別している。

(目黒):目黒蒲田電鉄(株) (旧東横):(旧)東京横浜電鉄(株) (玉川):玉川電気鉄道(株) (池上):池上電気鉄道(株) (武蔵):武蔵電気鉄道(株) (田園):田園都市(株)(もしくはは荏原電気鉄道)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1910	3	2	(武蔵)起業目録見書中の軌間1,372mmを1,435mmに変更	8	3	軽便鉄道法施行
(M.43)	5	24	(玉川)目黒、渋谷両村へ電灯供給開始	10	19	箕面有馬電気軌道(株)(現:阪急電鉄(株)) 開業
	6	22	(武蔵)創立総会 資本金350万円 社長に岡田治衛武 就任	—	—	箕面有馬電気軌道(株)が土地建物分譲事業を開始(「池田室町住宅地」売出開始)
1911	1	9	(武蔵)本線天現寺橋～平沼間、第1支線調布村～蒲田間免許	8	1	東京市 東京鉄道を買収し、東京市電誕生
(M.44)	3	25	(玉川)富士瓦斯紡績と電力需給契約締結			
1912	12	25	(池上)池上電気鉄道(株)発起 大崎町～入新井村間軽便鉄道敷設特許申請(1914.4.8免許)	1	1	軽便鉄道補助法施行
(M.45)				7	30	明治天皇崩御、大正に改元
(T.元)				11	3	京成電気軌道(株)(現:京成電鉄(株)) 開業
1913				4	15	京王電気軌道(株)(現:京王電鉄(株)) 開業
(T.2)				5	2	東京信託(株) 新町住宅第1回分譲
1914				7	28	第一次世界大戦勃発
(T.3)				12	20	東京駅開業
1915	4	2	(玉川)京王電気軌道(株)に電力供給許可			
(T.4)						
1917	6	24	(池上)創立総会 資本金40万円 社長に山口文右衛門 就任 本社を東京市麴町区有楽町1-3に設置			
(T.6)						
1918	1	—	(田園)発起 発起人渋沢栄一、中野武宮、服部金太郎、緒明圭造、柿沼谷雄、市原求、伊藤幹一、星野錫、竹田政智の9人で「田園都市株式会社設立趣意書」編纂 荏原電気鉄道発起人(7人)により荏原郡大井町を起点に玉川村の玉川電気鉄道駒沢停車場付近に至る軽便鉄道敷設免許申請			
	3	4	(田園)創立事務所を東京市麴町区永楽町2-10に設置			
	4	18	(池上)支線目黒不動前～下大崎間軽便鉄道敷設免許申請(1919.9.12却下)			
	5	18	(武蔵)東京市内線敷設免許再申請(7.22却下)			
	6	29	(玉川)渋谷～天現寺橋間、渋谷橋～中目黒間鉄道敷設免許申請			
	9	2	(田園)設立 資本金50万円 社長に中野武宮、専務に竹田政智、取締役には服部金太郎、緒明圭造、柿沼谷雄、星野錫、監査役に伊藤幹一、市原求、相談役に渋沢栄一就任 本社事務所を東京市麴町区永楽町2-10日清生命館内に設置			
	9	3	(池上)線路および工事方法一部変更認可申請			
	9	—	(田園)事業用地買収開始(対象地 洗足地区、多摩川台地区、大岡山地区)			
	10	9	(田園)社長中野武宮死去 専務竹田政智が代表取締役就任			
	10	30	(池上)支線池上～蒲田間軽便鉄道敷設免許申請(12.28免許)			
1919	12	21	(武蔵)社長岡田治衛武以下全役員辞任 会長郷誠之助など就任	8	15	地方鉄道法施行
(T.8)						
1920	1	6	(田園)大井町～調布村間(8.52km) 地方鉄道敷設免許申請(3.6免許)	3	—	株式市場大暴落、金融恐慌発生
(T.9)	3	17	(武蔵)東京市内線 上目黒町～有楽町間鉄道敷設免許(1923.3.16失効)	5	15	鉄道院が鉄道省となる
	3	27	(玉川)駒沢～用賀間複線開通			
	4	10	(田園)荏原電気鉄道発起人総会 鉄道敷設権を無償で田園都市(株)に譲渡の件可決			
	4	14	(田園)荏原電気鉄道発起人 大井町～調布村間鉄道敷設権の田園都市(株)への譲渡許可申請(5.18認可)			
	5	11	(武蔵)常務に五島慶太就任(鉄道院監督局総務課長を辞任)			
	5	18	(田園)荏原電気鉄道の鉄道敷設権を無償で譲受、同時に荏原電気鉄道発起人会解散			
	8	21	(玉川)軌道拡幅(1,067mmより1,372mmに)工事のため全線単線運転実施			
	12	20	(田園)大崎町～碑文谷村間地方鉄道敷設免許申請(1921.2.15免許)			
1921	5	9	(田園)大崎町～碑文谷村間工事施行認可申請	9	28	相模鉄道(株) 開業
(T.10)	5	18	(池上)第1期線池上～蒲田間工事着手			
	5	26	(田園)田園都市耕地整理組合設立(洗足地区)			
	6	24	(玉川)三軒茶屋～世田谷、世田谷～下高井戸間地方鉄道敷設免許申請			
	11	—	(田園)事業用地買収完了(総面積159万9,000㎡、別途、大岡山地区に30万㎡を買収)			
1922	3	24	(田園)目黒線大崎町(目黒)～調布村(多摩川)間工事施行認可	7	25	国鉄山手貨物線渋谷～原宿間複線開通
(T.11)	3	30	(田園)目黒線着工	7	27	玉南電気鉄道(株)(現:京王電鉄(株)の一部) 設立
	4	20	(池上)臨時株主総会 社長芳川寛治辞任 社長に高柳淳之助就任	8	15	武蔵鉄道設立(11月西武鉄道(株)と商号変更)
				11	1	(旧)西武鉄道(株) 帝国電灯の鉄道業を譲受ける

















年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1954 (S.29)	8	10	東京乗車券印刷 解散			
	8	23	箱根ターンパイク(小田原～箱根間有料自動車専用道路)免許申請			
	9	6	四谷東急サービス・ステーション開業(石油販売事業第1号店の開業)			
	9	9	超短波無線電話局開設(固定局本社)			
	9	15	東横線全線軌条重量変更完了(37kg/m→50kg/m)			
	10	1	資本金9億円を15億円に増額			
	10	1	ハワイアン・トラベル・サービス 東急航空株と商号変更			
	10	16	東横線に5000系車両6両就役(大幅な車両の軽量化)			
	11	11	会長五島慶太(学武蔵工業大学理事長に就任)			
	11	15	東急会館増改築工事竣工(11.20から東横百貨店西館として使用開始)			
	12	1	東京航運株 浅上倉庫株を合併して浅上航運倉庫株と商号変更			
	12	16	目蒲線目黒～蒲田間の運転間隔を9分から7分に短縮			
	12	16	日本内燃機製造株を傘下に収める 資本金2億円			
12	22	東横車輛工事株 日本モーターを合併して東横車輛工業株と商号変更				
12	23	主要駅に自動券売機設置				
12	31	株横浜ホテル 自動車業を横浜交通に譲渡				
1955 (S.30)	2	21	学東急自動車学校 設立(4.1開校)	4	29	京王帝都電鉄株 東府中～府中競馬場正門間開通
	2	21	東海定期運送 解散	5	11	宇高連絡船紫雲丸は宇高丸と衝突沈没 死者168人
	3	16	財大東急記念文庫 開館	5	20	国鉄総裁に十河信二就任
	4	1	学五島育英会 設立	6	1	都営無軌条電車池袋～千駄ヶ谷4丁目間開通
	4	1	東横線日中のみ急行列車運転再開	7	7	国鉄東海道本線豊橋～大垣間に湘南型電車運転開始
	4	1	玉川線三軒茶屋 玉電若林、松陰神社前、世田谷、上町、宮ノ坂、玉電中里、用賀、砧線砧の各停留場の駅業務を株東急弘潤会に委託	7	8	日本住宅公団法公布・施行
	4	1	東急不動産株より遊園業の経営を受託	7	29	自動車損害賠償保障法公布(1956.2.1施行)
	4	13	会長五島慶太 鉄軌道・自動車部門に対し各日収1,000万円達成指令	10	1	小田急電鉄株 御殿場線松田～御殿場間にディーゼル準急行列車乗入開始
	4	27	目黒社員アパート第1・2期工事竣工(1棟12戸)	12	27	都営無軌条電車千駄ヶ谷4丁目～渋谷駅間開通
	5	1	東急不動産株 代官山東急アパート竣工			
	5	4	企画室を廃止して企画部設置			
	6	1	鉄道全線の終電を15分～30分延長			
	6	2	学五島育英会 東横学園付属二子幼稚園設置認可			
	7	23	玉川線200形連接車、6編成就役			
	8	17	荏田開発事務所設置			
	8	22	東急文化会館建設工事着手			
	9	15	目蒲線目黒～田園調布間軌条重量変更開始(37kg/m→50kg/m) 1965.1.15全線完了			
	9	30	東急ボーイスカウト東京130、131隊 結成			
	10	1	東横線急行列車終日運転実施			
	10	1	東急修学旅行会館竣工			
	10	7	当社の寄付工事により多摩川パークウェイ完成			
	11	15	目蒲線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧			
	11	29	定時株主総会 定款中一部改正「常務制実施」 常務に田中勇就任			
12	1	株東急ゴルフ場 設立 資本金300万円(東京都より砧ゴルフ場の経営を受託)				
1956 (S.31)	1	1	築地東急有料駐車場開業(簡易給油所併設)	3	1	社日本原子力産業会議 設立
	1	14	株白木屋を傘下に収める 資本金2億円	3	20	営団地下鉄丸ノ内線御茶ノ水～淡路町間開通
	1	16	目蒲線目黒～蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮	3	—	全国的に映画館新築ブーム(東京においては終戦直後の4倍452館)
	1	24	池上線折返し列車3両編成運転実施			
	1	24	「東急電鉄発祥之地」記念碑除幕式を日吉において挙行	4	16	日本道路公団 設立
	1	31	東急観光株 設立 資本金3,000万円	4	20	京浜急行電鉄株 穴守稻荷～羽田空港間開通
	2	1	伊東下田電気鉄道株(発起人代表当社社長五島昇) 伊東～下田間地方鉄道敷設免許申請	4	26	首都圏整備法公布(6.9施行)
	2	1	ヒルトンホテルズ・インターナショナルとの間にホテル建設についての仮契約書調印	5	23	百貨店法公布
	2	1	乗合バス野沢電雲寺～新宿間開設(都営バスと相互乗入)	5	—	箱根登山鉄道株 小田原～箱根板橋間軌道営業廃止
	2	15	1区間乗車券のみ(単能型)の自動券売機使用開始	7	20	営団地下鉄丸ノ内線淡路町～東京間開通
	2	22	東横線高島町～桜木町間複線化工事着手	7	20	動力車操縦者運転免許に関する省令公布
	3	1	学五島育英会 東横学園女子短期大学設置認可	9	15	西武鉄道株 蒸気機関車の運転を廃止
	3	2	東急観光株 星ヶ岡茶寮開業	9	21	都営無軌条電車 渋谷～品川間開通
	3	12	日本糖蜜飼料株を傘下に収める 資本金1,200万円	10	16	伊豆箱根鉄道株 十国鋼索線十国登り口～十国峠間開通
	3	16	乗合バス瀬田営業所新設	11	19	国鉄東海道本線の電化完成
	3	28	河口湖汽船街を傘下に収める 資本金60万円 同社の経営を関東乗合自動車に委託	11	19	国鉄高崎線熊谷～高崎間、上越線高崎～水上間電車運転開始
	3	31	株東急ゴルフ場より砧ゴルフ場の経営を譲受ける	11	19	国鉄田端～品川間京浜東北線・山手線を分離
				12	18	日本 国際連合に加盟

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1956 (S.31)	4	1	大井町線直通列車3両編成運転実施			
			池上線全列車3両編成運転実施(五反田～蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮)			
	4	1	多摩川園催物館完成			
	4	20	二子玉川園にライティング・コースター完成			
	4	25	東急不動産株 東京証券取引所第二部に株式を上場			
	5	7	本社社屋第2期増築工事竣工			
	5	12	箱根中強羅観富荘買収			
	5	15	株東急文化会館設立 資本金2,500万円			
	6	7	東京駐車場株 設立 資本金2,500万円			
	6	9	東急病院第1期増築工事竣工(病床70床)			
	6	27	目黒社員アパート第3期工事竣工			
	7	1	東急江の島レストハウス開業			
	7	1	真砂荘・海浜ホテルの経営を東急観光株に引継ぐ			
	7	14	東急服装学園 設立認可(10.18東京田中千代服装学園と改称)			
	7	16	日本ドリゾール株を傘下に収める 資本金7,500万円			
	7	23	新玉川線渋谷～二子玉川間地方鉄道敷設免許申請			
	7	—	「多摩川西南新都市計画」策定			
	8	11	会長五島慶太(学亜細亜学園理事長に就任)			
	9	10	東横線高島町～桜木町間複線化工事竣工			
	9	15	大井町線大井町駅改良工事竣工(4.7着工)			
	9	28	大井町線(のちの田園都市線)溝ノ口～長津田間の鉄道敷設免許を申請			
	10	1	資本金15億円を30億円に増額			
	10	1	東横線渋谷～桜木町間急行列車運転 所要時分40分を37分に短縮			
10	6	観富荘は恵風会館と改称して開業				
10	10	東横興業株(現:株東急ストア) 設立 資本金1,000万円				
10	16	傍系部、衛星都市建設部を新設				
11	12	東洋不動産管理株を傘下に収める 資本金300万円(11.22東急管財株と商号変更)				
11	20	東急自動車交通を傘下に収める 資本金1,000万円				
11	24	財天文博物館五島プラネタリウム 設立(1957.4.1開館)				
11	28	横須賀運送株を傘下に収める 資本金1,200万円				
11	30	東急文化会館竣工(12.1開館)				
12	1	興国開発株を傘下に収める 資本金19万5,000円 同社は東急砂利株と商号変更				
12	1	新宿東急文化会館竣工				
12	3	砧ゴルフ場竣工				
12	14	上野東急 設立 資本金5,000万円				
1957 (S.32)	1	25	小林一三(元当社取締役・監査役)死去	1	16	国鉄は地方組織を支社制に改正
	2	14	東京トヨタディーゼル株 設立 資本金3,000万円	3	26	都電渋谷駅終点を東急文化会館前に移転
	3	1	大井町線折返し列車3両編成運転実施	4	1	国鉄東海道本線浜松～豊橋間電車運転開始
	3	15	渋谷駅東口一般連絡踏道橋竣工	4	16	国土開発縦貫自動車道建設法公布
	3	26	伊豆開発興業は小涌園(旧天城荘)を藤田興業株に譲渡	4	25	高速自動車国道法公布
	3	27	東亜石油株を傘下に収める 資本金15億円	6	20	国鉄中央・京浜東北各線電車の2等車を廃止し老幼優先車に切替え
	3	31	株白木屋 増築工事竣工			
	4	1	東急不動産株 三田東急アパート開業	8	15	国鉄大糸線松本～糸魚川間全通
	4	1	東横興業株 白木興業株を合併	10	1	5千円札発行
	4	15	ユニオン観光バス株を傘下に収める	10	1	国鉄東京～長崎間特急「さちかぜ」新設
	4	—	群馬バス株を傘下に収める 資本金3,000万円	10	4	ソ連 世界初の人工衛星打上げに成功
	5	1	動力車操縦者養成所新設	12	1	日本ヘリコプター輸送株 全日本空輸株と商号変更
	5	1	田園調布、大岡山両駅の荷貨物取扱い業務を日本通運株に委託	12	1	国鉄両毛線高崎～新前橋間電車運転開始
	5	27	社長五島昇 東日本実業団陸上競技連盟会長に就任	12	11	百円硬貨発行
	6	3	日本内燃機製造株 オオタ自動車工業株を合併し日本自動車工業株と商号変更(6.6)	12	15	営団地下鉄丸ノ内線東京～西銀座間開通
	6	6	外国人観光客用バス2両購入			
	6	26	東急自動車交通は東急交通と商号変更			
6	30	目黒社員アパート第4期工事竣工				
7	10	取締役堀木謙三辞任				
7	11	大井町線中延駅付近立体交差工事竣工				
7	18	江の島レストハウス旅館部開業 東急観光株に経営を委託				
7	29	大井町駅の当社線と国鉄との連絡橋完成				
8	1	玉川ゴルフコース 設立 資本金7,500万円				
8	6	元住吉慎独寮が竣工				
8	10	池上線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧				
8	24	松籟荘(レストラン)開業				
8	26	湘南ターンパイク(藤沢～小田原間有料自動車専用道路)免許申請				
9	20	東横興業株(株東光ストアと商号変更)				
9	20	信託車両制度を採用(1966.4まで)				
9	30	二子劇場開場				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1957 (S.32)	10	1	東横線急行列車全運用4両編成運転実施 急行列車運転時間を約1時間延長			
	10	7	定山溪鉄道(株)を傘下に収める 資本金9,900万円			
	10	21	東急コンクリート工業(株) 設立 資本金1億円			
	10	23	函館バス(株)を傘下に収める 資本金3,800万円			
	10	23	五島ローズガーデン開園			
	10	26	平野運送を傘下に収める 資本金3,000万円			
	11	1	管財部、伊豆開発班新設 企画部廃止			
	11	5	吉浜開発(株)を傘下に収める 資本金250万円			
	11	14	大井町線延長線溝ノ口～長津田間地方鉄道敷設免許申請を溝ノ口～中央林間に変更申請			
	11	16	会長五島慶太 中央食品相談役に就任			
	11	19	吉田瓦斯を傘下に収める 資本金4,000万円			
	11	29	渋谷地下街竣工			
	11	—	東横線全車両に車内警報装置を設置			
	12	1	群馬バス(株) ユニオン観光バス(株)を合併			
	12	19	本社社屋第3期増築工事竣工			
	12	20	元住吉慎独寮増築工事竣工			
	12	30	群北自動車交通を傘下に収める 資本金485万円			
	12	—	全日本空輸(株)に資本参加			
	1958 (S.33)	1	1	バス運賃改定 賃率1キロ当たり3円55銭(神奈川県)	3	9
1		9	乗合バス東京駅八重洲口～幡ヶ谷間に都営バスとの相互乗入れ路線開設	3	29	京浜急行電鉄(株) 帝都高速度交通営団から高輪南町～芝車町間地方鉄道敷設免許権を譲受
1		14	東急軽井沢第1スケートリンク竣工	5	30	最後のB・C級戦犯18人巢鴨刑務所から出所
1		15	大井町線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧	7	5	アラビア石油、クウェート国王と中立地帯沖合油田開発利権協定に調印
1		20	原子力研究委員会設置			
1		25	学)五島育英会 武蔵工業大学付属日黒高等無線学校設置認可	7	—	首都圏整備委員会が首都圏整備計画を策定(新宿、池袋、渋谷を副都心に指定)
2		15	玉川線世田谷停留場駅業務廃止	8	12	全日本空輸ダグラスDC3型旅客機下田沖に墜落 33人死亡
3		1	連絡室、調査室設置(1959.10.16連絡室廃止)			
3		3	札幌急行鉄道 敷設免許申請	8	18	都営無軌条電車池袋駅前～浅草駅間開通
3		22	横浜トヨタディーゼルの設立 資本金3,000万円	9	26	台風22号伊豆地方上陸 狩野川氾濫
3		26	自動車部中延営業所ならびに中延社員アパート竣工	10	15	営団地下鉄丸ノ内線西銀座～霞ヶ関間開通
4		1	東横線田園調布折返し列車を日吉まで延長、16分間隔運転実施 目蒲線朝間混雑時運転間隔を本線・折返し列車とも7分から6分に短縮	11	1	国鉄 ビジネス特急「こだま号」運転開始(東京～大阪間6時間50分)
4		11	大井町線軌条重量変更工事開始(37kg/m→50kg/m) 1966.10.15完了	12	1	1万円札発行
5		8	日東タイヤは米国USラバー社と技術提携	12	12	交通関係懇談会で東海道新幹線を1959年から5か年計画で工事着手することを決定
6		29	東急アパロン乗馬学校開校	12	23	東京タワー完成
6		—	社長五島昇 日本実業団陸上競技連合会会長に就任	12	27	国民健康保険法改正公布(1959.1.1施行)
7		4	白馬観光開発(株) 設立 資本金3,000万円			
7		16	関東民生産業を傘下に収める 資本金150万円			
7		21	東京ヒルトンホテル(株) 設立 資本金1億円			
7		22	観光バス営業地域に横浜市のうち港北・神奈川・鶴見の各区追加免許			
7		25	港北木材工業を傘下に収める 資本金100万円			
8		1	(株)白木屋 (株)東横百貨店を合併 資本金18億円			
9		1	田奈開発事務所設置			
9		2	玉川ゴルフコース開業			
9		8	東横自動車工業 解散			
9		18	(株)白木屋 (株)東横に商号変更			
9		30	東急不動産(株) 南平台東急ビル竣工			
10		1	大井町線朝間混雑時の運転間隔を本線、折返し列車とも8分から7分に短縮			
10		1	伊東下田電気鉄道建設委員会設置			
10		—	「自由ヶ丘電車庫」を「自由ヶ丘検車区」に変更			
11		4	上田丸子電鉄(株)を傘下に収める 資本金1億6,000万円			
11		10	朝日自動車(株)を傘下に収める 資本金1,500万円			
11		10	(株)丸善銀座店(現:(株)ながの東急百貨店) 設立			
12		1	東横線に輸送力増強のため、新造セミステンレスカー5200系3両就役			
12	8	東洋精糖(株)の経営に参加				
12	24	東横線車両20両に誘導無線によるラジオ関東放送受信装置設置、中継放送開始				
12	26	白馬観光開発(株) 八方尾根ロープウェイ開業				
1959 (S.34)	1	1	バス運賃改定 神奈川県内賃率1キロ当たり3円55銭、通勤定期設定	2	8	黒部トンネル開通
	1	9	乗合バス幡ヶ谷～東京駅八重洲口間開業(都バスと相互乗入)	3	15	営団地下鉄丸ノ内線霞ヶ関～新宿間開通
	1	9	築地東急有料駐車場閉鎖	4	10	皇太子殿下ご成婚
	1	24		4	14	首都高速度道路公団法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1959 (S.34)	1	29	運賃改定 賃率1キロ当たり2円20銭 軌道片道13円、往復25円 二子玉川園・下高井戸方面相互乗換券発行	4	15	最低賃金法公布
	2	9	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許	4	20	国鉄 東海道新幹線起工
	2	9	伊東～下田間地方鉄道敷設免許	4	20	修学旅行用列車「ひので」、「きぼう」運転開始
	2	18	東急国際ホテル(株) 設立 資本金4億円	4	23	東京都知事に東電太郎当選
	2	20	新玉川線建設部、伊東下田電気建設事務所(4.10廃止)設置	5	26	1964年オリンピック大会の東京開催が決定
	3	3	乗合バス弦巻営業所新設	6	3	シンガポール独立
	3	6	東洋食品(株)(現:ゴールドバック(株))設立	6	10	東京高速度道路新橋～鍛冶橋間開通
	3	27	(株)東光ストア 武蔵境店(本格的なスーパーマーケットの第1号店)開店	6	17	首都高速度道路公団設立
	3	30	乗合バス相互乗入路線東京駅～自由ヶ丘間を等々力まで延長	7	11	富士山麓電気鉄道(株) 河口湖～天上山間ロープウェイ開通
	4	1	横須賀運送(株) 横浜西部運送(株)、服部運輸(株)を合併し、日本貨物急送(株)と商号変更	7	17	大糸線信濃大町～信濃四ツ谷間に電車運転開始
	4	1	桜木町～関内間(1.0km)地方鉄道敷設免許申請	8	1	日産自動車(株) ダットサンブルーバード発売(マイカー時代始まる)
	4	9	伊東下田電気鉄道(株) 創立総会	12	3	東京陸運局 個人タクシーに初免許
	4	11	伊東下田電気鉄道(株) 設立 資本金10億円			
	5	1	東急多摩田園都市の土地区画事業開始 野川第一土地区画整理組合設立認可(東急多摩田園都市で第1号)			
	5	28	(株)ホテル文珠荘を傘下に収める 資本金1,500万円			
	5	29	中越自動車(株)を傘下に収める 資本金2億4,000万円			
	6	1	東横線急行列車 朝夕のみ5両編成運転実施			
	6	1	日本自動車工業(株) 東急くろがね工業(株)と商号変更			
	6	—	東急くろがね工業(株) 軽四輪自動車「くろがねベビー」の量産体制に入る			
	7	1	東急くろがね自動車販売(株) 設立 資本金1億円			
	7	6	おんたけ交通(株)を傘下に収める 資本金1億円			
	7	6	東急車輛製造(株) 東京証券取引所第一部に上場			
	7	14	東急沼津ドライブイン開業			
	7	14	新世界を傘下に収める 資本金1億円			
	8	1	東急不動産(株) 溜池東急ビル竣工			
	8	14	会長五島慶太 死去			
	8	18	故五島慶太の社葬を築地西本願寺において執行			
	9	2	社長五島昇 学)五島育英会ならびに学)亜細亜学園理事長に就任			
	9	9	東急病院第2期増築工事竣工			
	9	10	東洋精糖(株)の全所有株式を売却			
	9	16	池上線軌条重量変更工事開始(37kg/m→50kg/m) 1967.3.15完成			
10	1	新玉川線建設委員会設置				
10	12	東急不動産(株) 代官山東急アネックス竣工				
10	20	東北急行運送(株)を傘下に収める 資本金1,991万5,000円				
10	29	「ハワイ・シロキヤ」開店				
11	11	東急不動産(株) 建設部門を分離して東急建設(株)を設立 資本金1億円				
11	25	(財)五島美術館設立(1960.4.18開館)				
11	25	白馬観光開発(株) 白馬東急ホテル開業				
11	26	東横線都立大学駅付近立体交差工事着手				
11	30	東横線自由ヶ丘駅改良工事竣工(急行待避線建設)				
12	15	東急車輛製造(株) 米国パッド社とオールステンレス車両について技術提携				
12	24	東横線白楽駅改良工事竣工(3.18着手)				
12	28	宗谷バス(株)を傘下に収める 資本金2,700万円				
1960 (S.35)	1	1	東急観光(株) 東急航空(株)を合併	1	19	新日米安保条約行政協定調印
	1	22	伊東下田電気鉄道(株) 伊東～下田間鉄道敷設工事着手	2	23	徳仁親王(現在の天皇陛下)ご誕生
	1	22	臨時原子力研究所建設部設置	3	27	国鉄南武線武蔵溝ノ口～津田山間、久地～宿河原間複線開通
	1	—	新玉川線「蛇崩川ルート(渋谷～三軒茶屋間を地下化し、三軒茶屋から用賀付近までは蛇崩川沿いの高架橋とする案)」取りまとめ	5	24	チリ津波襲来
	2	6	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道工事施行認可申請(1961.8.15認可)	5	30	富士山麓電気鉄道(株) 富士急行(株)と商号変更
	3	25	乗合バス神明営業所増設工事竣工、荏原営業所と改称 荏原社員アパートも同時に竣工	7	1	国鉄 2等を1等に、3等を2等に改正
	4	1	東横線にセミステンレスカー6000系4両就役(5.16さらに4両就役)	7	25	東海道新幹線自動車国道建設法公布
	4	10	高島町変電所送電開始(無人1号)	9	7	箱根ロープウェイ早雲山～桃源台間全通
	5	5	二子玉川園少年科学館開館	9	10	NHK、日本テレビ、ラジオ東京、朝日放送、読売テレビはカラーテレビ放送開始
	5	8	東急国際ホテル(株) 銀座東急ホテルをオープン	10	12	社会党委員長浅沼稻次郎刺殺される
5	21	北見バス(株)を傘下に収める 資本金5,000万円	12	4	都営地下鉄1号線押上～浅草橋間開通(京成電鉄(株)と相互乗入れ)	
5	—	箱根ターンパイク(小田原市早川～箱根町大観山付近)事業免許取得	12	8	第2次池田勇人内閣成立	
6	10	長岡鉄道(株)を傘下に収める 資本金2億円	12	8	群馬バス(株)社長木暮武夫夫 運輸大臣に就任	
			12	20	新道路交通法施行	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1960 (S.35)	8	1	空港産業(株)を傘下に収める 資本金1億円				
	8	14	『五島慶太の追想』を刊行				
	9	1	経営計画委員会設置				
	9	20	大井町線延長線溝ノ口～中央林間間地方鉄道敷設免許				
	10	1	広報室、新線建設部新設				
	10	1	長岡鉄道(株) 中越自動車(株)、栃尾鉄道(株)を合併し越後交通(株)と商号変更				
	12	20	反町架道橋、東横線反町駅改良工事竣工				
	—	—	東急くろがね工業(株) 「くろがねペーパー」の専用工場として上尾工場を新設				
	1961 (S.36)	2	1	砧線砧停留場を「砧本村」と改称	1	20	米国大統領にケネディ就任
		2	20	伊東下田電気鉄道(株) 伊豆急行(株)と商号変更	2	8	営団地下鉄荻窪線新宿～新中野間、中野坂上～中野富士見町間開通
2		25	(株)スリーハンドレッドクラブ 設立 資本金7,980万円				
3		1	(株)東急エージェンシー 設立 資本金5,000万円	3	28	営団地下鉄日比谷線南千住～仲御徒間開通	
3		31	富士航空(株)を傘下に収める 資本金1億8,000万円	4	12	ソ連 人工衛星船の打上げに成功	
3		—	渋谷～長野駅間の長距離特急バスの免許取得	8	23	新京成電鉄(株) 前原～新津田沼間開通により松戸～京成津田沼間全通	
4		1	恩田第一土地区画整理組合設立認可	9	25	日本航空(株) 東京～札幌間にコンペア880型ジェット機の使用開始	
4		1	東海自動車との共同出資により下田ロープウェイ(株)を設立				
4		15	乗合バス 馬込循環線(大森駅～馬込銀座～大森駅)でワンマンカー運転開始	10	2	東京・大阪・名古屋3証券取引所に株式市場第二部を新設発足	
4		18	マスコット「トップちゃん」が決まる				
4		24	(株)横浜ホテル (株)横浜東急ホテルと商号変更	11	1	営団地下鉄荻窪線新中野～南阿佐ヶ谷間開通	
5		8	ちくまや海運(のちの伊豆急マリン)を設立	11	7	踏切道改良促進法公布・施行	
6		2	湯ノ沢研究所(のちの南伊豆温泉開発(株))を傘下に収める				
7		1	東急不動産(株) 上目黒東急ビル竣工				
7		1	渋谷駅～長野駅間長距離バス運転開始				
7		21	御堂興業(株) 設立 資本金1億円				
7		—	柿ノ木坂無人変電所送電開始				
8		1	参与室、中目黒改良工事用地班設置 調査室、広報室廃止				
8		1	東急不動産(株) 自由ヶ丘東急ビル竣工				
8		21	東亜石油(株)の株式をアラビア石油(株)の株式と交換売却				
8		—	蛇崩川ルート工事施行認可(竣工期限1964.8)				
8		—	経営計画委員会を発展的に解消				
9		14	東横線都立大学駅改良工事竣工				
9		14	資本金45億円を70億円に増額				
10		1	東横線急行および日吉折返し全列車平日朝間のみ5両編成、普通本線全列車4両編成運転実施				
10		2	浅上航運倉庫(株)ならびに東急エビス産業(株)株式を東証第二部に上場				
10		2	東急不動産(株) 東証一部に指定替え				
10		11	城南交通 設立 資本金2,000万円				
10		—	全鉄道電話ダイヤル式に移行(自動化)				
11		15	東急不動産(株) 麻布東急アパート竣工				
12		1	(株)ホテル琉球を傘下に収める 資本金5,548万2,000円				
12		10	伊豆急行(株) 伊東～伊豆急下田間開通				
12		10	(学)五島育英会 武蔵工業大学付属原子力研究所竣工				
12		12	東横線元住吉駅改良工事竣工				
12	—	(株)東光ストア 東横線都立大学駅高架下に商品倉庫と検品所設置					
1962 (S.37)	1	16	伊豆急自動車(株)(のちの伊豆急東海タクシー(株)) 設立	1	23	営団地下鉄荻窪線南阿佐ヶ谷～荻窪間開通により新宿～荻窪間全通	
	1	27	東横線にオールステンレスカー7000系車両就役				
	1	31	草軽電気鉄道(株) 鉄道業を廃止	2	1	東京都の人口1,000万人突破	
	2	5	東急くろがね工業(株) 倒産 会社更生法適用申請(2.3)	3	23	営団地下鉄荻窪分岐線中野富士見町～方南町間開通により中野坂上～方南町間全通	
	2	13	(株)ホテル琉球 (株)琉球東急ホテルと商号変更				
	2	—	駒沢野球場を東京都に返還	3	31	日本道路公団 箱根新道開通	
	2	—	(株)東急エージェンシー 6大全国紙と代理店契約を締結	5	3	常磐線三河島駅構内で多重衝突(死者160人)	
	3	20	野川第一土地区画整理組合解散認可	5	31	営団地下鉄日比谷線北千住～南千住間、仲御徒町～人形町間開通	
	3	27	横浜東急ホテル開業				
	4	1	提案審査委員会設置	5	31	都営地下鉄1号線浅草橋～東日本橋間開通	
	4	1	定年1年延長 56歳となる	6	10	北陸本線北陸トンネル開通(当時日本最長)	
	4	1	乗合バス日吉営業所新設	8	1	東北急行バス 東京～山形、東京～仙台、東京～会津若松間の長距離路線開業	
	4	27	東急くろがね工業(株) 会社更生手続開始決定				
	5	30	北見バス(株) 網走交通(株)を系列下に	8	30	日本航空機製造 YS-11型機の初飛行成功	
	6	1	東急国際ホテル(株) 白馬観光開発(株)から白馬東急ホテルを譲受ける	9	26	日本道路公団 若戸大橋開通	
	6	16	宮前・恩田両都市建設事務所設置	9	30	都営地下鉄1号線東日本橋～人形町間開通	
	7	18	取締役綾部健太郎、運輸大臣に就任 取締役を辞任	11	23	横浜民衆駅開業	
	8	22	第1回東急事業団親睦野球大会開催				
	8	—	伊豆急行(株) 不動産部を新設				
	9	1	東急航空(株) 設立 東急観光(株)から航空・船舶部門を譲受ける 資本金4,500万円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1962 (S.37)	9	18	大井町線延長線溝ノ口～長津田間分割工事施行認可申請(1963.5.15認可)				
	10	2	東米マリン設立 資本金4,000万円				
	10	8	東急国際ホテル(株) 下田東急ホテル開業				
	10	20	乗合バス高津営業所新設				
	11	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2円37銭				
	11	10	御堂興業(株) (株)大阪会館と商号変更				
	11	16	東急リネン・サプライ(株) 設立 資本金3,000万円				
	12	13	東横線田園調布駅に自動印刷券売機設置				
	12	31	東急インターナショナルを傘下に収める 資本金300万円				
	1963 (S.38)	1	16	東急日販販売設立 資本金2,500万円	1	18	蒲田民衆駅完成
		2	—	伊豆急行(株) 伊豆高原別荘地の販売開始	2	28	営団地下鉄日比谷線人形町～東銀座間開通
		3	31	東海産業(株)を傘下に収める 資本金270万円	2	28	都営地下鉄1号線人形町～東銀座間開通
4		1	目蒲線に車内警報装置設置	4	25	大阪駅前にわが国最初の横断歩道橋完成	
4		—	ITV(産業用テレビジョン:車掌がお客さまの安全を確認するために駅ホームの各所を映すテレビ)を渋谷駅で使用開始	9	29	信越本線のAPT式区間廃止	
5		10	吉浜開発(株) 箱根ターンバイク(株)と商号変更	11	1	新千円札発行	
5		25	伊香保ケーブル鉄道(株)を傘下に収める 資本金1億円(同社は1967.8.1群馬バス(株)に合併)	11	9	国鉄東海道線鶴見駅付近で多重衝突(死者161人、重軽傷者120人)	
5		—	開発対象地域を貫く大井町線延長線の工事許可申請認可	11	22	米国大統領ケネディ暗殺され、副大統領ジョンソン、大統領に就任	
5		—	日本IBMパンチカードシステム導入、順次各種計算業務を開始	11	23	初の日米間テレビ宇宙中継受信実験成功	
6		1	関東民生産業は東急建設(株)を合併し、東急建設(株)と商号変更 資本金3億450万円	12	12	都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通	
6		14	バス運賃改定 神奈川県内で川崎市営バスと競合する特定区域内の賃率1キロ当たり3円90銭、東横線以南20円均一制、東横線以北初乗り1区20円、特区15円、1区20円、1区増すごとに10円加算				
6		16	山内都市建設事務所設置				
6		20	東京ヒルトンホテル(現:ザ・キャピトルホテル東急)を開業、国内初の国際級ホテル				
7		7	東急観光(株) 今井浜東急ホテル開業				
7		22	(株)伊豆急スポーツセンター 稲取ゴルフ場を開場				
8		1	ニュートウキューモーターズ(株) 東急国際ホテル(株)を合併して東急国際ホテル(株)と商号変更 資本金4億円				
8		24	伊豆開発(株) 東急興産(株)と商号変更				
9		13	東急建設(株) 東証第二部に上場				
10		1	東京通運(株) 厚木通運(株)を合併 資本金1億4,000万円				
10		11	多摩川西南新都市を多摩田園都市と改称				
10		11	大井町線を田園都市線と改称 田園都市線延長線溝ノ口～長津田間建設工事着手 起工式を川崎市有馬地区鷺沼駅予定地において挙行				
10		24	東急国際ホテル(株) (株)横浜東急ホテルより軽井沢東急ホテルを譲受ける				
10		—	大阪案内所(ホテル)を開設				
11		1	東横線 平日朝間日吉折返し全列車6両編成運転実施				
12		1	田園都市線、池上線に車内警報装置設置				
—		—	乗車券に必要な記載事項を印刷して発券する自動券売機(多機能型自動券売機)を導入				
1964 (S.39)		2	—	新玉川線工事部分的に着工	2	23	国鉄 座席予約装置MARS101使用開始
		3	23	祐天寺駅ビル竣工(地下1階、地上3階)	2	29	日本鉄道建設公団法公布・施行
		4	10	地下鉄6号線(泉岳寺～桐ヶ谷間)地方鉄道敷設免許申請(12.18免許、1968.9.24免許返納)	3	25	営団地下鉄日比谷線霞ヶ関～恵比寿間開通
		4	15	富士航空(株)、日東航空(株)、北日本航空(株)の合併により日本国内航空(株)設立 資本金34億8,000万円	4	28	日本 OECDに加盟(経済協力開発機構)
		4	16	東横線渋谷駅改良工事竣工(4線7面ホーム、中央改札口新設、ITVの本格的な使用)	4	29	京王帝都電鉄(株) 高幡不動～多摩動物公園間開通
		4	17	おんたけ交通(株)の全株を名古屋鉄道(株)に譲渡(50万株)	5	19	根岸線桜木町～磯子間開通
		4	22	東急グループ ニューヨーク世界博に参加	5	20	新宿民衆駅完成
		5	23	空港産業(株) (株)羽田東急ホテルと商号変更	6	16	新潟を中心に大地震 昭和石油の原油タンク爆発
	5	25	(株)東横百貨店 池袋店閉店	7	22	営団地下鉄日比谷線恵比寿～中目黒間開通	
	6	1	東急車輛製造(株) 東邦特殊自動車工業(株)を合併 資本金14億円となる	7	25	国鉄山陽本線全線電化完成	
	7	1	大和都市建設事務所設置	8	29	営団地下鉄日比谷線東銀座～霞ヶ関間開通により北千住～中目黒間全通	
	7	3	城南交通は渋谷サービス(株)と商号変更	9	17	東京モノレール 浜松町～羽田空港間開通	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1964 (S.39)	9	30	副社長大川博辞任、東映(株)は東急グループより分離			
	9	30	更生計画に基づき、東急くろがね工業(株)の第2会社として東急機関工業(株)設立 資本金2億円			
	10	1	駒沢営業所(バス)新設			
	10	1	東急興産(株) 東急くろがね工業(株)を合併			
	11	1	日本貨物急送(株) 東北急行運送(株)を合併			
	11	1	渋谷サービス(株)は東急交通を合併 資本金5,000万円となる			
12	15	白木金属工業(株)を傘下に収める 資本金3億円				
1965 (S.40)	1	16	バス運賃改定 賃率廃止 1区20円 1区増すごとに10円加算 川崎市内東横線以南は20円均一	3	10	気象庁 富士山頂気象レーダー運用を開始
			恩田第一土地区画整理組合解散認可	3	18	中央本線新笹子トンネル貫通
	3	25	東急鮫バス(株) 設立 資本金4,000万円	5	5	こどもの国開園
	3	29	田園都市線本線列車4両編成運転実施	6	1	厚生年金保険法一部改正(1万円年金)
	4	1	東急病院は総合病院の名称使用を承認される	9	24	国鉄 電子計算機による指定券発売窓口開設(みどりの窓口)
	4	24	東急のれん街設立 資本金500万円(6.13開業、1971.6.1フードマートに合併)	12	19	第3京浜道路開通
	5	8	網走交通(株)(資本金1,600万円)・北紋バス(株)(資本金930万円)を傘下に収める			
	6	10	渋谷東急ビル(のちの渋谷東急プラザ)開業			
	6	13	箱根ターンパイク(株) 箱根ターンパイク大観山線営業開始			
	7	23	元住吉教習所新舎竣工			
	11	30	田園都市サービスセンター(東急多摩田園都市開発の住民向け総合窓口)開設			
	12	1	株東光ストアを傘下に収める 資本金1億円			
1966 (S.41)	1	20	自由ヶ丘、緑ヶ丘、雪ヶ谷大塚、久ヶ原、鶯ノ木、溝ノ口、宮ノ坂7駅名の「ヶ」、「ノ」を「が」、「の」に変更	2	4	全日本空輸ボーイング727型旅客機、東京湾に墜落(133人死亡)
	1	20	運賃改定 鉄道対キロ区間制(1キロ〜6キロ20円4キロ増ごとに10円加算)、軌道20円均一制	3	4	カナダ太平洋航空DC8型旅客機、羽田で着陸失敗炎上(64人死亡)
	2	4	越後交通(株)の全所有株式を新星企業に譲渡	3	5	英国海外航空ボーイング707型旅客機、富士山麓に墜落(124人死亡)
	2	22	東調布慎独寮竣工			
	3	18	田園都市線上野毛〜高津間改良工事竣工により、二子玉川園・二子新地前両駅は高架化、二子専用橋梁竣工	3	5	国鉄運賃値上げ実施(旅客31.2%、貨物12.3%)
	3	19	田園都市線二子玉川園駅折返し列車を、二子新地前駅まで延長	3	16	営団地下鉄東西線中野〜高田馬場、九段下〜竹橋間開通
	3	24	田園調布駅付近の環状8号道路と東横・目蒲線との立体交差工事竣工(1964.5.8着工)	3	27	京浜急行電鉄(株) 久里浜延長線野比〜津久井浜間開通
	3	27	自由が丘検車区を鷺沼に移転し鷺沼検車区と改称	4	1	メートル法完全実施
	4	1	溝の口〜長津田間開業	4	23	小田急電鉄(株) モノレール線開通(向が丘遊園〜向が丘遊園前間)
	4	1	日本国内航空(株) 東京〜福岡、東京〜札幌の運航免許取得	5	5	砧ファミリーパーク開園(元砧ゴルフ場)
	4	15	砧ゴルフ場閉鎖(東京都に返還)	6	1	田奈小学校つつじが丘分校(東急多摩田園都市の土地区画整理区域で初めての施設)開校
	4	18	東急まつりにて経営優秀三賞(経営優秀賞・経営功労賞・経営努力賞)の表彰開始	6	25	国民の祝日改正 敬老の日(9月15日)、体育の日(10月10日)を追加
	4	18	乗合バス新羽営業所新設	7	4	新東京国際空港の建設地が千葉県成田市に決定
	4	18	電車の塗色をグリーンに統一	7	7	京浜急行電鉄(株) 久里浜延長線津久井浜〜三浦海岸間全通
	4	18	バス運賃改定 横浜市内30円均一(日吉〜高田線を除く)	7	7	首都高速道路3号線の渋谷〜用賀間の延長が都市計画決定
	5	30	草軽電気鉄道(株) 草軽交通(株)と商号変更	7	1	日産自動車(株) プリンス自動車工業合併
	8	1	(株)東急文化会館 上野東急を合併	10	1	営団地下鉄東西線竹橋〜大手町間開通
	8	10	渋谷開発(株) 設立 資本金20億円	10	15	トヨタ自動車工業・日野自動車業務提携
	8	20	東急青葉台サービスセンター(東急多摩田園都市開発の住民向け総合窓口)開業	11	13	全日本空輸YS-11型機、松山空港で海上に墜落(50人死亡)
	10	1	東横線中目黒〜都立大学間立体交差工事着工	12	9	国民の祝日改正 建国記念日は2月11日に決定
	10	12	中目黒変電所竣工			
	11	1	新日本興業(株) (株)東急文化会館を合併			
	11	26	(株)ながの丸善 店舗を長野駅前に移転			
	12	1	箱根ターンパイク(株) 東急ターンパイク(株)と商号変更			
1967 (S.42)	1	—	東急建設(株) 建設事業のうち道路工部門を分離して、東急道路(株)(現:世紀東急工業(株))を設立	4	25	東伊豆道路(現:国道135号)全通
	2	4	相模建材工業(株) 東急建材工業(株)と商号変更	4	30	川崎市営無軌条電車運行廃止
	3	27	田園都市線にオール・ステンレスカー7200系、7500系車両就役	6	5	第三次中東戦争勃発(アラブ連合、イスラエルに宣戦布告)
	4	1	長津田〜中央林間間分割工事施行認可	6	28	私鉄経営者協会 日本民営鉄道協会と改称
	4	1	東急鮫バス(株) 新日本製鐵名古屋製鉄所と通勤輸送運行開始	8	8	新宿駅構内で米軍タンク車と貨車が衝突し炎上
	4	15	下谷本西八朔土地区画整理組合解散認可	9	14	営団地下鉄東西線大手町〜東陽町間開通
	4	28	こどもの国線長津田〜こどもの国間3.4km開通 運賃大人30円、小児15円均一制 (特殊法人こどもの国協会より建設・運営を受託)	9	28	国鉄上越線新清水トンネル開通により全線複線電化
	4	—	大倉山駅上りホームでカメラとモニターによる「ホーム監視用モニター」を設置	10	1	京王帝都電鉄(株) 高尾線北野〜高尾山口間全通
	4	—	渋谷駅観光案内所を開設	10	1	国勢調査 総人口100,243千人 日本の人口が初めて1億人を超える
	5	8	東京ヒルトンホテル(株) (株)ホテル・ジャパン東急と商号変更	10	22	国鉄横浜線菊名〜新横浜間複線開通
	5	25	有馬第一土地区画整理組合解散認可	10	—	電話局長津田局(東急多摩田園都市内で最初の電話局)開局
				12	9	都電銀座線廃止
			12	31	テレビ受信契約数2,000万台を突破	
			—	—	青葉台郵便局、鷺沼と青葉台両駅前の交番新設	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1967 (S.42)	5	30	(株)ホテル文珠荘 (株)鹿教湯温泉ホテルと商号変更			
	6	19	東急くろがね自動車(株)販売解散			
	7	15	藤が丘ショッピングセンター開業			
	7	22	青葉台ショッピングセンター開業			
	8	1	東急建設(株) 東証第一部上場			
	8	15	東名急行バス(株) 設立 資本金5,000万円(当社ほか11社が出資、当社本社内に本社を設置)			
	8	22	目蒲線洗足駅付近の立体交差工事竣工 洗足駅は地下化			
	9	29	(株)東横 商号を株東急百貨店に変更			
	9	—	青葉台プラザビル(現:青葉台東急スクエアの一部)竣工			
	10	1	バス運賃改定 都内1地帯30円、2地帯50円			
	10	20	東急マイクロネシア開発(株)設立 資本金1億8,000万円			
	10	29	蒲田駅改良工事一部完成により目蒲線2線、池上線1線が高架化			
	11	1	博多東急ホテル(株) 設立 資本金3億円			
	11	1	(株)東急百貨店 本店開店(渋谷栄通り)			
	11	2	(株)小牧ドライブイン設立 資本金4,000万円			
11	27	渋谷サービス(株) 東急サービス(株)と商号変更				
11	30	鷺沼東急アパート竣工(以後、多摩田園都市内に相次いでドエル、ピレジ、プラザを建設)				
12	1	新日本興業(株) 新宿ミラノボウル竣工				
12	16	電力司令所設置(奥沢変電所内)				
12	—	東横線大倉山駅に転落報知機設置(1972.12までに14駅18か所に設置)				
1968 (S.43)	1	1	(株)東急ゴルフ場 玉川ゴルフコースの営業を開始	2	4	国鉄横浜線新横浜〜小机間複線開通
	1	13	恩田第二土地区画整理組合解散認可	2	21	宮崎県えびの大地震
	2	5	目黒駅、自由が丘駅で自動券売改札機の使用開始	3	12	国鉄横浜線大宮〜菊名間複線開通
	3	1	東急車輛製造(株) 帝國車輛工業(株)を合併	4	1	田奈小学校つつじが丘分校がつつじが丘小学校として分離独立
	3	23	東急日産販売の営業部門と日新自動車東京支店営業部門が合併、東新日産と商号変更	4	12	霞が関ビル(36階建)完成
	3	—	たまプラーザ駅前ビル竣工	4	19	西武百貨店渋谷店開店
	4	1	東横線でATS(自動列車停止装置)使用開始	4	25	東名高速道路東京〜厚木間、富士〜静岡間、岡崎〜小牧間開通
	4	1	田園都市線長津田〜つくし野間(1.2km)開通			
	4	1	バス運賃改定 川崎市内30円均一	5	16	十勝沖地震
	4	3	「第1回東急グループ社員家族慰安会」を日本武道館で2日間にもわたって開催	6	21	都営地下鉄大門〜泉岳寺間開通により、京浜急行電鉄(株)・都営地下鉄・京成電鉄(株)相互乗入れ開始
	5	25	恩田第三土地区画整理組合解散認可	8	5	東北本線全線複線化
	5	30	(株)東急ホテルチェーン 設立 資本金4,000万円	8	20	ソ連軍 チェコスロバキアへ侵入、全土占領
	6	1	白浜ビーチゴルフ倶楽部(6.10白浜リゾート開発(株)と商号変更)を傘下に収める 資本金8億円	9	—	横浜市の宅地開発要綱制定
	6	1	東急ファミリークラブ事務局設置(6.2から会員募集)	10	12	第19回メキシコオリンピック大会開催(〜10.27) 当社従業員が2人出場
	6	7	池上線長原駅付近の立体交差工事(工事延長926m)、上・下線とも地下線に切替え	11	15	都営地下鉄1号線泉岳寺〜西馬込間開通
	9	1	電算室設置	12	10	川端康成 ノーベル文学賞受賞
	10	1	大岡山教習所廃止	12	20	中央高速道路八王子〜相模湖間開通
	10	1	田園都市線全線(大井町〜つくし野)4両編成運転実施 通勤快速運転開始	12	27	都営地下鉄6号線巣鴨〜高島平間開通
	10	1	(株)東急ホテルチェーン 東急国際ホテル(株)の経営を受託			
	10	2	集中計算センター設置 バス全営業所収入金の一括処理体制整う			
	10	5	市ヶ尾第一土地区画整理組合解散認可			
10	29	蒲田駅改良工事が竣工(4線5ホーム、高架化)、使用開始				
11	15	下谷本第二土地区画整理組合解散認可				
11	29	東急日産販売は東急企業と商号変更				
11	30	長原駅付近立体交差工事竣工(1965.12.1着手)				
12	16	(株)東急海外ホテル 設立 資本金4,000万円				
12	17	白浜リゾート開発(株) 東急土地開発(株)と商号変更				
12	20	日東タイヤ株式を三菱商事に譲渡(608万9,400株)				
—	—	駅清掃を東急サービス(株)に委託				
—	—	東京工業大学へ長津田キャンパス(現:すずかけ台キャンパス)敷地譲渡(1968年、1969年)				
1969 (S.44)	2	1	東急エビス産業(株) 東証第一部上場	1	18	東京大学安田講堂を一部学生が不法占拠、一時騒乱状態となる
	2	15	荏田第一土地区画整理組合解散認可	1	20	ニクソン 第37代米大統領就任
	3	26	新日本興業(株) (株)東急レクリエーションと商号変更	2	1	東名高速道路静岡〜岡崎間開通
	3	31	新世界は東急グループより分離	3	1	国鉄東京管理局 「東京西」、「東京南」、「東京北」の3管理局に分割新発足
	4	1	(株)赤坂東急ホテル 設立 資本金1,250万円			
	4	1	(株)羽田東急ホテル (株)羽田プリンスホテルを合併	3	17	中央高速道路相模湖〜河口湖間開通
	4	10	小川第一土地区画整理組合解散認可	3	29	営団地下鉄東西線東陽町〜西船橋間開通により中野〜西船橋間全通
	4	20	上田丸子電鉄(株) 丸子線を廃止			
	5	6	乗合バス不動前営業所を廃止 東名急行バス(株)営業所に賃賃	3	31	東名高速道路富士〜御殿場間、厚木〜大井松田間開通
				5	10	国鉄 1等、2等区分を廃止しグリーン車を設定

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1969 (S.44)	5	7	乗合バス大橋営業所開設	6	—	改正都市計画法施行
	5	10	玉川線渋谷～二子玉川園間、砧線二子玉川園～砧本村間営業廃止 三軒茶屋～下高井戸間を世田谷線と呼称	7	16	米国アポロ11号 人類初の月面着陸に成功
	5	11	世田谷線 玉電若林、玉電山下、玉電松原の各停留場を「若林」、「山下」、「松原」と改称	10	14	西武鉄道(株) 秩父線吾野～西武秩父間開通
	5	11	新玉川線第1期工事着手	11	11	玉川高島屋ショッピングセンターが開業
	5	15	博多東急ホテル開業	12	15	南武線川崎～登戸間快速電車運転開始
	5	31	上田丸子電鉄(株) 上田交通(株)と商号変更	12	20	営団地下鉄千代田線大手町～北千住間開通
	6	10	東名急行バス(株) 高速バスの運行開始			
	7	15	東横線桜木町駅に自動放送装置設備 池上線五反田駅(1970.6.6)、目蒲線目黒駅(1971.3.15)			
	8	1	目蒲線 ATS使用開始			
	8	7	東横線中目黒～都立大学間立体交差工事により下り線高架に切替え			
	8	11	(株)赤坂東急ホテル (株)東急ホテルチェーンに経営を委託			
	9	13	赤坂東急ホテル開業			
10	1	田園都市線 ATS使用開始				
10	31	定山溪鉄道(株) 鉄道事業を廃止				
11	1	(株)東急興産川越製作所 伊勢機材工業(株)を合併し、伊勢機材工業(株)と商号変更 資本金3,000万円				
11	4	深夜バス(銀座～大森間)運行開始				
11	11	東急マイクロネシア開発(株) グラム東急ホテル開業				
11	15	元石川第一土地区画整理組合解散認可				
11	15	下市ヶ尾第一土地区画整理組合解散認可				
11	30	東横線にオール・ステンレスカー8000系(全長20mの大型車)就役				
12	20	草軽交通(株) 草津東急ホテルをオープン				
1970 (S.45)	2	26	東横線中目黒～都立大学間立体交差工事上り線高架に切替え16か所の踏切解消	2	11	国産初の人工衛星打上げ成功
	3	1	池上線ATS使用開始(鉄道全線設置完了)	3	7	湘南モノレール大船～西鎌倉間開通
	3	15	日本万国博に参加 会場内のモノレール運転開始	3	11	世界最大の旅客機ボーイング747型1番機、羽田空港着
	3	27	神奈川トヨタディーゼル 設立(3.31トヨタカローラ東急と商号変更)	3	15	アジア初の日本万国博を大阪で開幕(～9.13)
	3	31	河口湖汽船(有)の全所有株式を富士急行(株)に譲渡	3	17	国鉄根岸線磯子～洋光台間開通
	4	1	トヨタカローラ東急 横浜トヨタディーゼルの営業権を譲受ける	3	26	サンコー長津田ショッピングワールド開店
	5	1	白木金属工業(株) 東証第二部上場	3	31	日本航空旅客機「よど号」赤軍派学生9人に乗取られる
	5	17	旧玉川線渋谷駅にバスターミナル設置	4	8	大阪の地下鉄工事現場でガス爆発(天六ガス爆発事故発生)
	5	—	(株)東急百貨店 (株)ながの丸善の株式取得に伴う子会社化	8	2	銀座・渋谷・池袋・浅草などで「歩行者天国」の試み実施
	6	6	大和市北部第一土地区画整理組合解散認可	11	20	国連総会「中国招請、国府追放」を決議
	6	25	西八朔第二土地区画整理組合解散認可	11	25	三島由紀夫割腹自殺
	6	27	(株)東急レクリエーション 八戸東急ボウル開業			
	7	1	(株)横浜東急ホテル (株)羽田東急ホテル、(株)赤坂東急ホテル、(株)東急海外ホテルおよび(株)東急ホテルチェーンを合併し(株)東急ホテルチェーンと商号変更 資本金4億円			
	7	31	東急機関工業(株)の所有株式を日産自動車(株)に売却(38万6,774株)			
	9	1	(株)ながの丸善、社名および店名をながの東急百貨店に改称			
	9	—	郵政省 嶮山早野地区を対象とするCATV事業の届出を受理			
	10	1	渋谷駅西口ビル竣工(3階～8階東横店の店舗)			
10	1	東急不動産(株) 大阪支店開店および大阪証券取引市場第一部上場				
10	—	(株)東急百貨店 東横店南館オープン				
10	—	(株)東急ホテルチェーンと日商岩井、現地のサリニ百貨店の3社合併事業開始				
12	23	(株)東急レクリエーション ナゴヤ新日鉄ボウル開業				
—	—	原町田駅前整備再開発事業開始				
1971 (S.46)	1	25	リージェント・ホテルズ・インターナショナル設立(香港委託会社・資本金21万ドル)	3	20	営団地下鉄千代田線大手町～霞ヶ関間開通
	2	1	従業員持株制度発足	4	1	京王帝都電鉄(株) 相模原線のうち、京王多摩川～京王よみうりランド間開通
	2	20	東横線祐天寺・学芸大学・桜木町各駅が自動化モデル駅となる	4	20	営団地下鉄千代田線綾瀬～北千住間開通
	2	20	東横線祐天寺・学芸大学両駅にオープンカウンター開設	4	26	山手線全編成10両となる
	3	1	(株)東急ホテルチェーン (株)ホテルジャパン東急を設立 資本金6,000万円	6	5	京王プラザホテル開業
	3	31	東急コンクリート工業(株) 生コンクリート部門を日本セメントに譲渡	6	5	名古屋鉄道系百貨店「メイテツハニー」 三軒茶屋で開業
	4	1	東急興産(株) 東急企業(株)を合併	6	17	沖縄返還協定調印
	4	1	東急国際ホテル(株) (株)東急ホテルチェーン、(株)ホテル・ジャパン東急を合併し、(株)東急ホテルチェーンと商号変更	7	2	湘南モノレール大船～江の島間開通
				7	30	自衛隊ジェット機 盛岡上空で全日本空輸機に衝突(死者162人)
				8	15	米国大統領ニクソン 金・ドル交換一時中止、10%の輸入課徴金新設の政策を発表(ドル・ショック)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1971 (S.46)	4	1	全サービスステーション、ドライブインにコンピューター端末機を導入、事務処理を電算化	8	16	東京株式市場「ドル・ショック」により大暴落
	4	3	(株)東急ホテルチェーン 東京ヒルトンホテルの営業権を(株)ホテル・ジャパン東急に賃貸	10	25	中国の国際連合代表権回復、台湾は国際連合脱退
	4	14	梶ヶ谷第一土地区画整理組合解散認可	12	1	主要幹線道路にバス優先走行線設定される
	4	20	ニッポンレンタカー東名(株) 設立 資本金3,000万円	12	18	円切上げ 1ドル=308円に
	5	15	日本国内航空(株) 東亜航空(株)と合併し東亜国内航空(株)として新発足 資本金95億2,500万円			
	5	19	東横線に8000系冷房車就役(東京急行電鉄で初めての冷房車が登場)			
	6	5	上谷本第一土地区画整理組合解散認可			
	6	5	成合土地区画整理組合解散認可			
	7	3	東亜国内航空(株) 「ばんだい号」函館上空で墜落(死者68人)			
	7	16	名称審査委員会発足			
	7	28	高村造園(株)を傘下に収める 資本金400万円			
	10	1	北海道・上野幌開発共同企業体設立(総事業費47億6,000万円)			
10	1	東急興産(株) 東海産業(株)を合併 資本金46億270万円となる				
10	29	(株)東急ホテルチェーンはソウル東急ホテル開業				
11	15	恩田第四土地区画整理組合解散認可				
12	1	東急エビス産業(株) 菱和飼料・日本農産工業と合併し解散				
12	15	東急土地開発(株) トウキョウ・ランド・デベロップメント(ハワイ)社設立				
12	20	白馬観光開発(株) 岩岳スキー場に会員制「白馬メンバーズクラブ」を開設				
1972 (S.47)	1	20	(株)石勝エクステリア設立 資本金600万円	1	24	グラム島で元日本兵横井庄一氏発見される
	2	20	上田交通(株) 真田・傍陽線営業廃止	1	27	西湘バイパス全線開通、箱根ターンバイクと接続
	3	30	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 設立 資本金5億円	2	3	第11回冬季オリンピック札幌大会開催(～2.14)
	3	31	東急ターンバイク(株)の有料道路業を譲受ける	2	19	軽井沢山荘で連合赤軍グループ5人、警官隊と銃撃戦
	4	1	東急ターンバイク(株)の有料道路の運営を委託	3	1	都市交通審議会は13路線答申(11号線二子玉川～渋谷～九段下～蠟殻町～深川扇橋)
	4	1	東急観光(株) 東急航空(株)を合併	3	15	国鉄山陽新幹線新大阪～岡山間開通
	4	1	東光食糧販売(株)を傘下に収める 資本金800万円	4	23	大手私鉄7労組24時間スト
	4	1	田園都市線つくし野～すずかけ台間(1.2km)開通	4	30	中小私鉄100労組24時間スト
	4	20	田園都市線冷房車使用開始	4	—	福岡県が1985年を目標とした長期ビジョンと中期計画(第1期)を発表(「小郡・筑紫野ニュータウン」建設の提言を含む)
	4	—	日本ドリゾール株式をウエスタン・トレーディングに譲渡(72,900株)	4	—	大阪千日デパート火災(118人死亡)
	5	1	相談役会(社長諮問機関)設置	5	13	沖縄復帰 沖縄県として発足
	5	1	定山溪鉄道(株) 札幌市内バス路線を札幌市へ譲渡	5	15	国連主催人間環境会議、ストックホルムで開催
	5	8	目蒲線冷房車使用開始	6	5	超音速機コンコルド羽田に飛来
	5	22	小川第二土地区画整理組合解散認可	6	12	都営地下鉄6号線巣鴨～日比谷間開業
	5	29	英文社名を「Tokyu Corporation」と改称	6	30	国内の航空会社3社の事業割当に関する運輸大臣示達
	6	1	(株)琉球東急ホテル (株)那覇東急ホテルと商号変更	7	1	国鉄総武地下新線東京～錦糸町間完成 房総東線を外房線、房総西線を内房線と改称
	6	15	神木土地区画整理組合解散認可	7	15	国鉄横浜線小机～八王子間複線化工事に着手
6	15	大倉山変電所完成送電開始	8	20	首相田中角栄 中国訪問 周恩来首相と会談 日中共同声明調印	
6	17	東横線都立大学駅が自動化駅となる	9	25	営団地下鉄千代田線霞ヶ関～代々木公園間開通 銀座線神宮前駅を「表参道」と改称	
7	25	トヨタカローラ東急の所有株式をトヨタカローラ神奈川に譲渡	12	16	横浜市営地下鉄上大岡～伊勢佐木長者町間開通	
7	—	目蒲線・田園都市線に冷房車両就役	—	—	渋谷「公園通り」が命名される	
8	1	バス運賃改定 横浜市内片道大人50円均一(ただし1973.3.31までは暫定措置として40円均一)				
8	3	(株)東急レクリエーション 浜松東急ボウル(40レーン)を開業				
8	10	(株)東急レクリエーション 新潟に古町東急ボウル(42レーン)を開業				
8	—	東急不動産(株) 宇田川町の土地(聖パウロ教会跡地、現:東急ハンズ渋谷店)取得				
8	—	普通乗車券の100%券売機化を完成				
10	1	青葉台フードマートにおいてキャッシュレス・システム実験開始				
10	2	(株)東急ホテルチェーン 東証第二部上場				
10	5	長津田車両工場竣工				
10	—	新玉川線第2期工事を日本鉄道建設工団の事業として当社が受託				
11	1	伊豆急行(株) 東証第二部上場				
12	4	オーキッド・アイランド・リゾーツ・コーポレーション設立 資本金102万ドル				
12	15	ニッポンレンタカー東名(株) ニッポンレンタカー東急(株)と商号変更				
—	—	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 米国大手レジャー会社から、ホノルル(オアフ島)のハワイアン・リージェント・ホテルを75億円で取得				